



平成20年1月4日

報道機関各位

熊本大学企画部企画課広報室

第21回工学部プロジェクトX講演会
「私の携わったエレクトロニクス産業」を開催します

熊本大学では、工学部「ものづくり創造融合工学教育事業」の一環として、平成18年度に引き続き、プロジェクトX講演会を開催します。

講師の山崎正踐氏は、日本電気株式会社（NEC）の勤務を経て、現在、技術士(*)事務所代表を務めておられます。

今回の講演では、長年にわたって集積回路・コンデンサー電池等の生産技術、管理技術等に携わり、日本の製造業の進展に尽力された経験談を語っていただく予定です。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしくお願いたします。

*) 技術士は技術士法に基づいて行われる国家試験に合格し、科学技術に関する高度な応用能力を備えた人に与えられる称号です。科学技術の高度な専門応用能力を必要とする事項について、計画・研究・設計・分析・試験・評価、またはこれらに関する指導を行います。

記

【日 時】平成20年1月25日(金) 14:40~16:10

【場 所】熊本大学工学部百周年記念館(黒髪南地区)

【演 題】私の携わったエレクトロニクス産業

まさふみ

【講 師】山崎 正踐 氏(熊本大学工学部生産機械工学科 昭和41年卒) 技術士事務所代表

【概 要】

1. 入社当時の社会的背景
2. 私が携わったエレクトロニクス産業の動向

米国産の優位性と“追いつき追い越せ” プラザ合意の日本産業へのインパクト 軽薄短小化の進展	通産省による“日の丸コンピューター” 情報システムでの武装 グローバル化する世界での生産戦略
-----------------------------------------------------	------------------------------------------------------
3. 私なりの反省
4. 技術士(経営工学部門)への道
5. 備考 戦後の日本の奇跡的な成長を支えた原動力は 米国産業の取った、巻き返しの戦略

【参加対象】一般の方、本学の学生及び教職員

参加費無料、申込み不要です。

熊本大学ホームページにも掲載しています。 <http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

~お問い合わせ~

大学院自然科学研究科機械システム工学専攻
教授 大庭英樹

TEL: 096-342-3684